



仮想ネットワークアダプタ設定パネルのご紹介



GUIで簡単設定

VirtualOfficeには仮想ネットワークアダプタの管理を簡単に行なう為に、仮想ネットワークアダプタ設定パネルをご用意致しました。この画面からは以下の操作を行なう事ができます。

- [仮想ネットワークアダプタの追加](#)
- [仮想ネットワークアダプタの設定](#)
- [仮想ネットワークアダプタの起動／停止](#)
- [仮想ネットワークアダプタの削除](#)

仮想ネットワークアダプタの設定の設定内容としては仮想ハブへの接続設定と仮想ネットワークに割り当てるIPアドレスの設定があります。

(C) 2006 SMC Co.,Ltd. All rights reserved.



仮想ネットワークアダプタ設定パネルの起動方法

Windowsのスタートメニューから起動

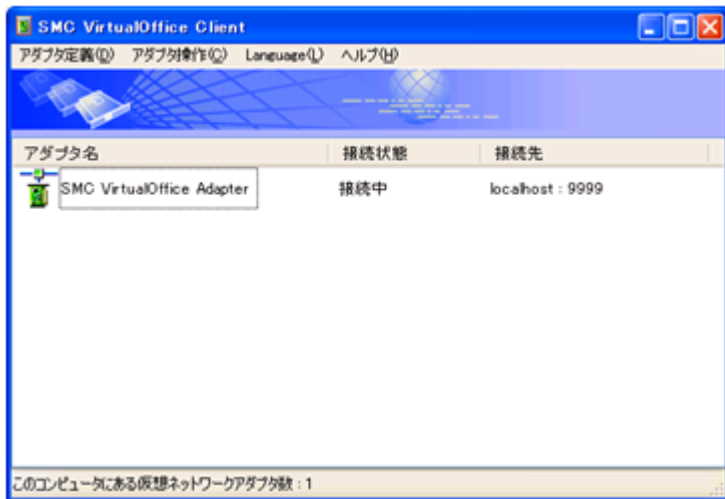
仮想ネットワークアダプタの設定を行なう為には、Windowsのスタートメニューから「すべてのプログラム」-「SMC VirtualOffice」-「VirtualOffice Client」を選択して、仮想ネットワークアダプタ設定パネルを起動します。

(C) 2006 SMC Co.,Ltd. All rights reserved.



一覧画面

仮想ネットワークアダプタ設定パネルの起動時には以下の画面が表示されます。この画面には現在自分のコンピュータに登録されている仮想ネットワークアダプタが一覧表示されます。この中からアダプタを選択し、各種の操作を行なうという作りになっております。

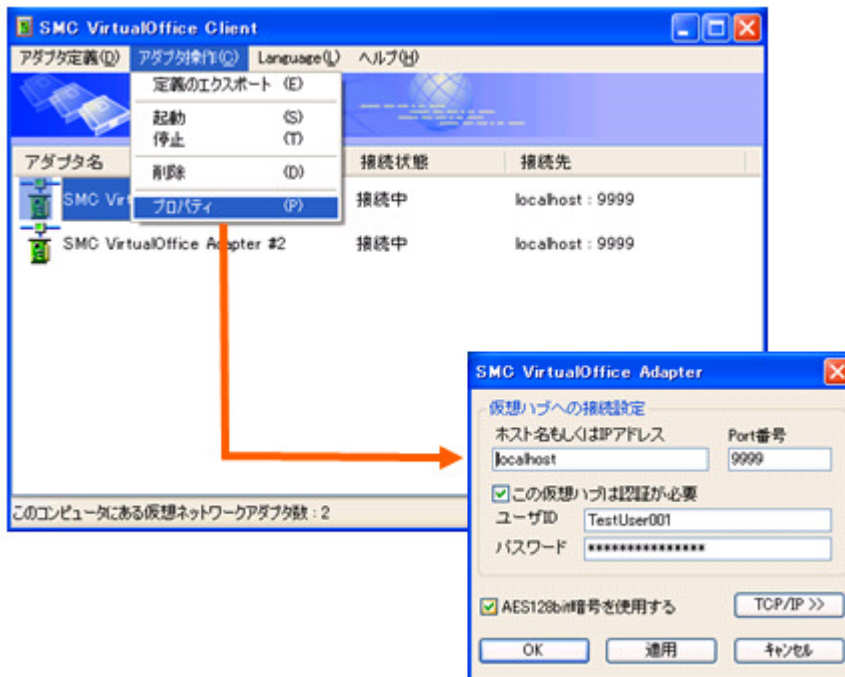


(C) 2006 SMC Co.,Ltd. All rights reserved.



プロパティ画面

一覧画面の中から特定のアダプタを選択中にコンテキストメニューの「プロパティ」を選択すると、プロパティ画面が表示されます。



プロパティ画面では以下の内容を設定します。

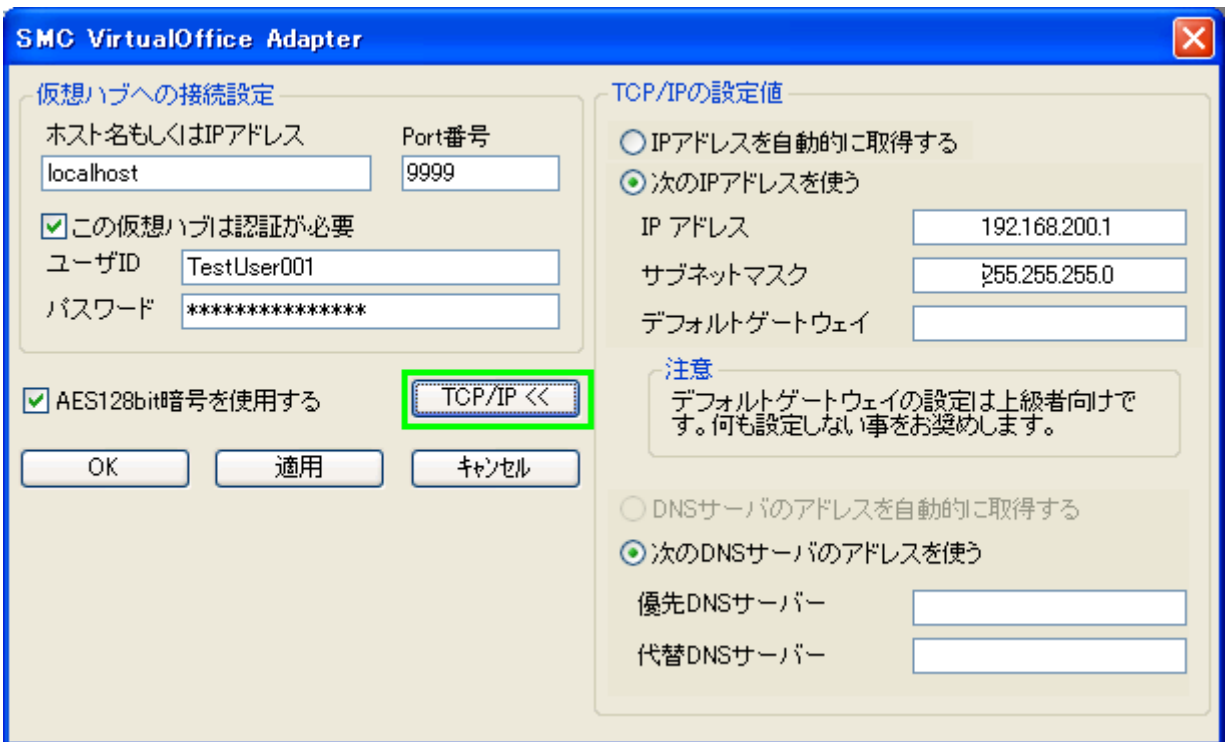
1. 仮想ハブへの接続設定



画面左上の「仮想ハブへの接続設定」の部分では以下の内容を設定します。

- ホスト名もしくはIPアドレス（仮想ハブの稼動しているコンピュータのアドレスです）
- Port番号（仮想ハブの待受けポート番号です）
- 認証情報（仮想ハブ側の設定に合わせて設定してください）
- 暗号化の使用有無

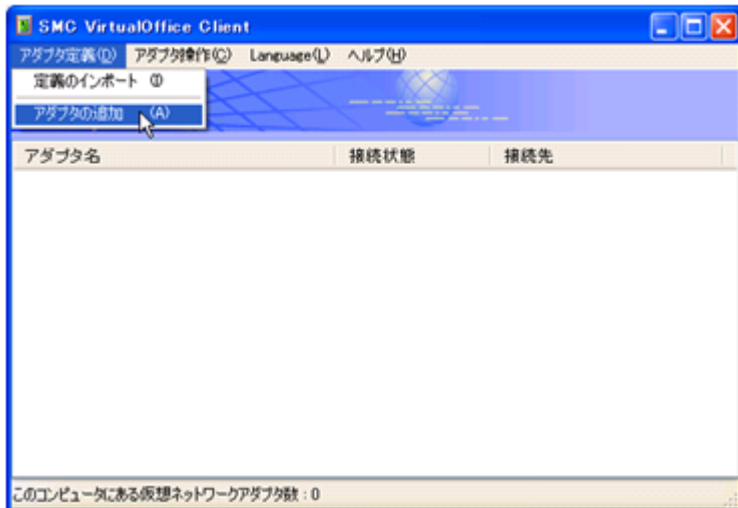
2.このネットワークアダプタの設定値



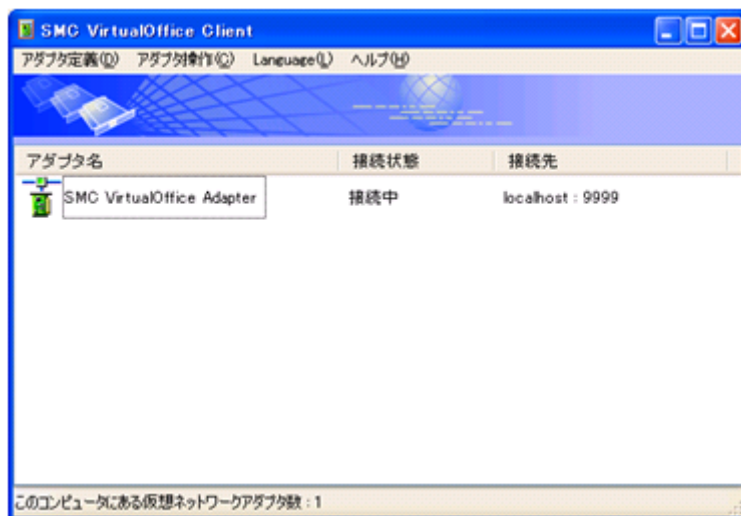
画面右半分の「このアダプタの設定値」の部分ではWindowsのネットワーク設定画面と同様の内容でアダプタに割り当てるIPアドレス等を設定します。一番簡単な設定方法として、IPアドレスとサブネットマスクだけを設定するという方法があります。仮想LAN上で接続先の別のパソコンと通信するだけであればこれだけで十分です。

仮想ネットワークアダプタの追加

まずはアダプタを1つ追加してみましょう



アダプタを追加するには一覧画面のメニュー「アダプタ定義」-「アダプタの追加」を選択します。
下図の様に一覧の中にアダプタが1つ追加されます。



アダプタは複数登録可能

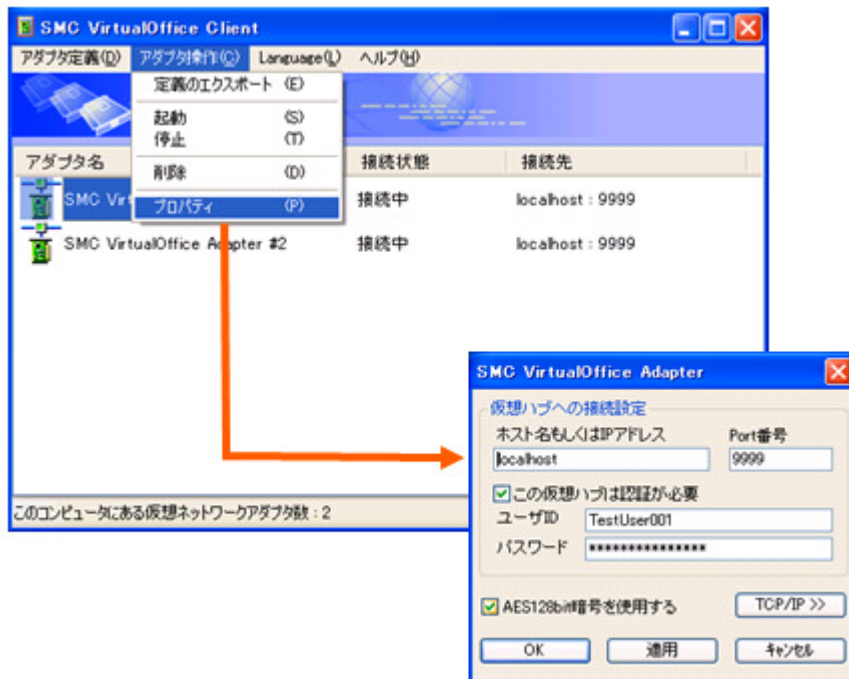
VirtualOfficeの仮想ネットワークアダプタは1つのコンピュータあたり16個まで追加できます。接続環境毎にアダプタを定義しておき、切替えて使用しても良いでしょう。

(C) 2006 SMC Co.,Ltd. All rights reserved.

仮想ネットワークアダプタの設定

アダプタの設定を行なうには

一覧画面の中から特定のアダプタを選択中にコンテキストメニューの「プロパティ」を選択すると、プロパティ画面が表示されます。



プロパティ画面では以下の内容を設定します。

1. 仮想ハブへの接続設定



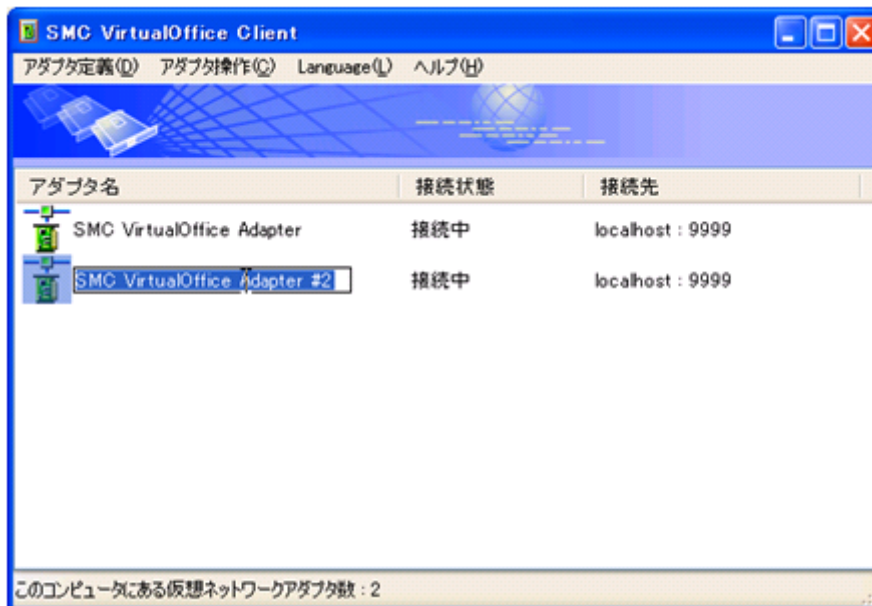
画面左上の「仮想ハブへの接続設定」の部分では以下の内容を設定します。

- ホスト名もしくはIPアドレス (仮想ハブの稼動しているコンピュータのアドレスです)
- Port番号 (仮想ハブの待受けポート番号です)
- 認証情報 (仮想ハブ側の設定に合わせて設定してください)
- 暗号化の使用有無

2. このネットワークアダプタの設定値

画面右半分の「このアダプタの設定値」の部分ではWindowsのネットワーク設定画面と同様の内容でアダプタに割り当てるIPアドレス等を設定します。一番簡単な設定方法として、IPアドレスとサブネットマスクだけを設定するという方法があります。仮想LAN上で接続先の別のパソコンと通信するだけであればこれだけで十分です。

3. ネットワークアダプタの名称変更

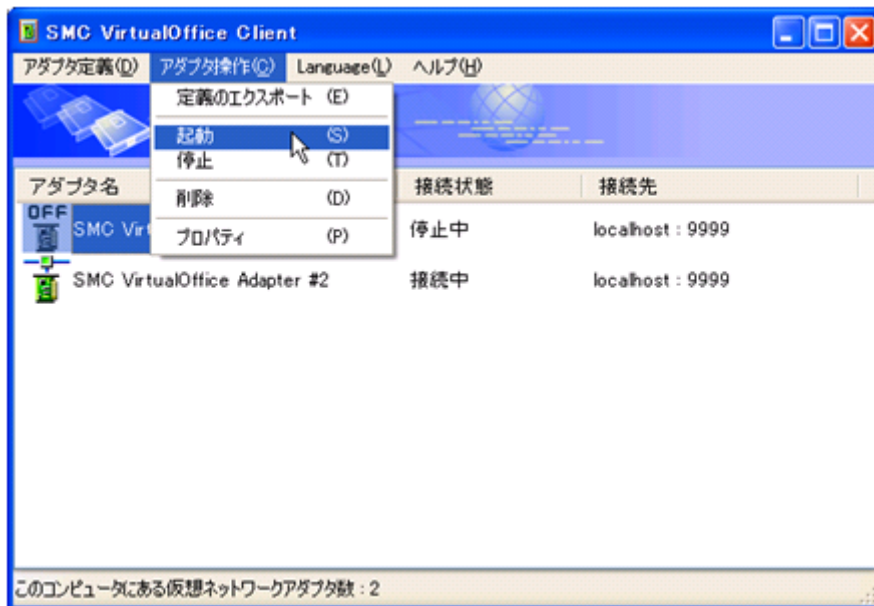


仮想ネットワークアダプタ設定パネルに表示されたネットワークアダプタの名称部分をゆっくりと2回押下する事で、ネットワークアダプタの名称を変更する事ができます。

仮想ネットワークアダプタの起動/停止

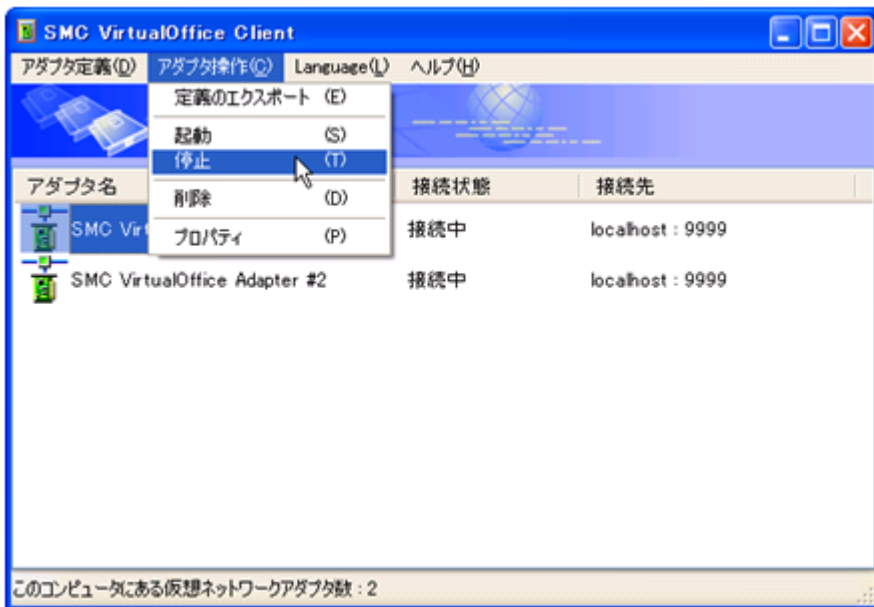
1. 仮想ネットワークアダプタの起動

一覧画面の中から特定のアダプタを選択し、メニューの「アダプタ操作」-「起動」を選択すると、アダプタが起動します。



2. 仮想ネットワークアダプタの停止

一覧画面の中から特定のアダプタを選択し、メニューの「アダプタ操作」-「停止」を選択すると、アダプタが停止します。





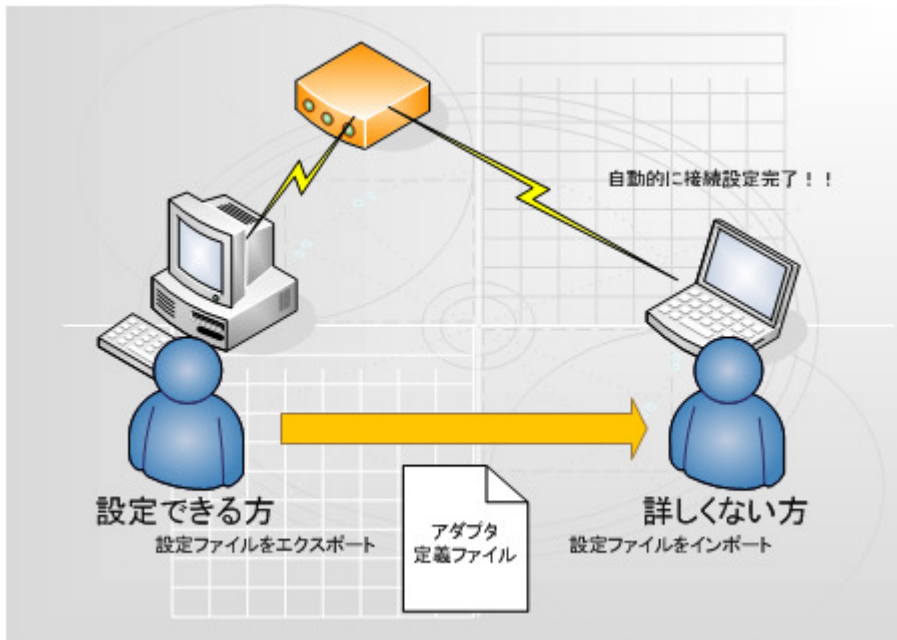
仮想ネットワークアダプタの削除

一覧画面の中から特定のアダプタを選択し、メニューの「アダプタ操作」-「削除」を選択すると、アダプタを削除できます。



アダプタ定義のエクスポートとインポート

アダプタ定義のエクスポートとインポート機能を使えば一度設定したアダプタ定義をファイルに出力したり、そのファイルを取込んで自動的にアダプタを追加することができます。これは遠隔地の接続相手が設定に明るくない方である場合に便利です。



例えば、ご本人がVirtualOfficeを導入されていて、設定完了しているが、接続したい相手先にはあまりパソコンやネットワークに詳しくない方がいらっしゃる場合、ご本人側で一旦相手が接続する為に必要なアダプタ定義を作り、そのアダプタ定義ファイルを相手先に渡せば、相手先はVirtualOfficeがインストールできていれば、仮想ネットワークアダプタ管理画面に定義ファイルをドラッグするだけで簡単にご本人が構築した仮想LANに接続できるのです。

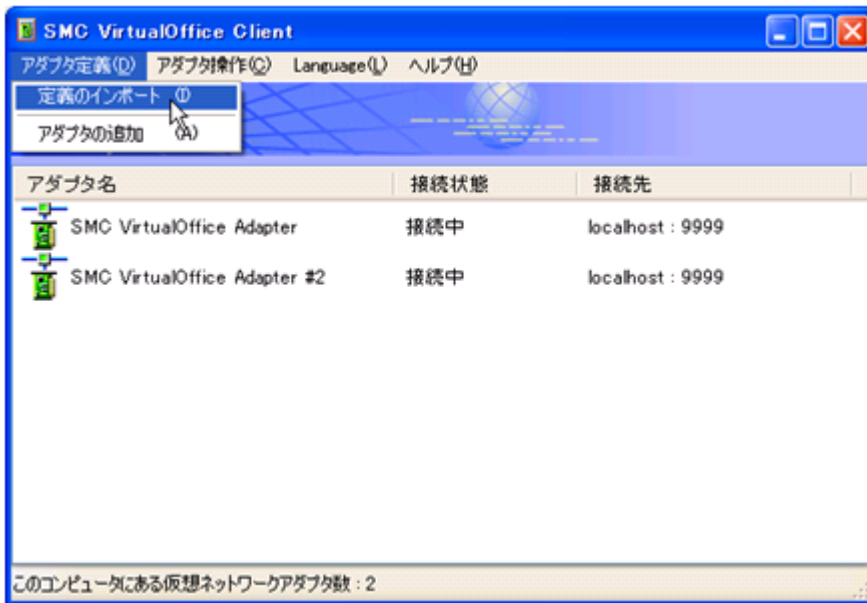
アダプタ定義のエクスポート

一覧画面の中から特定のアダプタを選択し、メニューの「アダプタ操作」-「定義のエクスポート」を選択すると、アダプタ定義をエクスポートできます。



アダプタ定義のインポート

一覧画面のメニューから「アダプタ定義」-「定義のインポート」を選択すると、ファイル選択画面が現れ、取込みたい定義ファイルを選択すると自動的にアダプタの追加と設定変更が行なわれます。



操作を簡単にする方法として、定義ファイルを直接画面にドラッグ & ドロップするという方法もあります。この場合も自動的にアダプタの追加と設定変更が行なわれます。

